



## 7月7日は七夕



今年もたくさんの方が診療所の待合室、保育室に短冊を飾ってくださいました。保育中に書いてくれるお子さまもおり、大きくなったらなりたいものや、これが欲しいですという願い、字がまだ書けない年齢のお子さまは絵を描くなど、ひとり一人が願いを込めて書き、飾っていました。皆さまの願いが叶いますように…☆

七夕といえば織姫と彦星を思い浮かべる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。着物を折る仕事をしている織女(織姫)と、天の川対岸に暮らす牽牛(彦星)は天帝によって引き寄せられ、やがて結婚しました。しかし二人は遊ぶことに夢中で働かなくなってしまう。働かないことに怒った天帝は、二人の間を天の川で隔て会えなくしてしまいます。ですが二人がとても悲しむため、一年に一度(7月7日)だけ会うことを許したことから、7月7日を七夕としたそうです。

七夕の日に雨が降ると、川の水かさが増し天の川にかかった橋を渡ることができないという理由から、織姫と彦星は会えないと言われる地域や、雨が降った日は会えたことのうれし涙と言われている地域もあります。みなさんはどちらでしょうか?ご家族で話してみても面白いですね♪

## 🏊‍♀️☀️🎈🌸🏊‍♀️☀️ 水の事故を防ごう 🏊‍♀️☀️🎈🌸🏊‍♀️☀️

これから暑くなってくると、海や川など水遊びが楽しい季節になりますね。しかし、2025年の水難事故件数は全国で1426件、そのうち中学生以下の水難事故件数は110件だったそうです。中でも子どもの水難事故は川で多く発生しています。ポイントをおさえ、安全に水遊びを楽しみましょう!

### ☆前日準備☆

◎**天候を確認する**…雨が降ると川の水が増水するため危険です。当日が雨予報の場合は安全のため中止しましょう。当日晴れていても、前日に雨が降っていた場合は水が増水している可能性があるため気を付けましょう。

### ☆川遊びの服装☆

- ◎ライフジャケットを着用する
- ◎ラッシュガードを着用する(怪我や日焼け、無地刺され防止)
- ◎ウォーターシューズを履く(滑り止めや怪我防止のため。すぐに脱げてしまうサンダルなどは控える)
- ◎帽子を着用する(日差し対策や頭の保護。より安全に遊ぶために水遊び用のウォーターヘルメットの着用も推奨されている)

### ☆遊ぶ際の命を守るためのルール☆

◎**川の流れや状況を確認する**…大きな石の周りは水深が深くなったり水の流れが変わったりと危険なため近づかない。岩でできた壁はいつ崩れてくるか分からないため近づかない。遊んでいいのは膝から下の深さまで。

◎**大人複数人で見守る**…子供から目を離さない、目の届く範囲で遊ぶ、水深が低いところで遊ぶ。

◎**流されたものを追いかけない**…着用しているものなどが流されても、追いかけて諦めていいことを、川や水に入る前にお子さまに伝えておく。

**※命を守ることを一番に考えましょう※**



# 火災についての知識を深めよう



6月に東京都の小学校で火災が起こったニュースをご存じでしょうか。4階からの出火で、煙の充満や防火扉が閉まっていたことから、当時出火元と同じ階にいた児童と職員は窓の外のひさしや屋上に避難したとのことでした。ケガ人はいましたが、火元と同じ階にいた26名全員が無事だと分かり安堵しました。いつどこで起きるか分からないのが災害の恐ろしさの一つでもあります。いざという時に少しでも落ち着いて行動できるよう備えておきたいですね。



## 火災が発生した際の3ステップ



### ① 119番通報

119番通報を行い、大きな声で近隣に知らせ避難を促しましょう。



### ② 初期消火を行う

天井に火が燃え移るまでが初期消火できる限度です。火が天井に達する前の出火直後であれば、初期消火を行うことも場合によっては有効です。一般的に、建物で火災が起きた場合、火災が発生してから3分以内で天井に火が燃え移ると言われています。そのため、**初期消火が可能なのは出火から1～2分程度**とわずかです。消火できなくても、それ以上は命の危険があるため速やかに避難しましょう。初期消火には消火器が一般的ですが、状況によっては消火器がない場所もあります。その際は、濡らしたタオルや衣服を絞ってから火元を覆うようにして掛け、空気を遮断しましょう。2枚以上かけるとより効果的です。



### ③ 避難する

火災の煙には有毒な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと意識障害や呼吸困難になってしまいます。口と鼻をタオルやハンカチ、無い場合は衣服や手で覆い、姿勢を低くして逃げましょう。(煙は上にあがっていく性質があるため)余裕があれば、扉を閉めて煙が充満するのを防ぎ、空気を遮断できると安全です。高さのある建物での火災の場合、エレベーターは止まる可能性があるため使用せず、避難はしごや階段等で避難しましょう。

上記3点について、複数人がいる場合は手分けして対応できるとよりスムーズで安全な避難に繋がります。一人でいるときに火災が起こった場合は、周囲に知らせてから初期消火を行い、それから119番通報の順で対応しましょう。119番通報している間に燃え広がってしまうのを防ぐためです。



## 火災事故を防ぐために日ごろからできること



◎コンセントはこまめに掃除する、使用しない場合は抜いておく

長期間差しっぱなしのコンセントにはほこりがたまります。そこに湿気が加わると電気プラグの刃の間で火花放電(瞬間的に高温、高電流状態になること)が繰り返されます。そこから放電が起こり、発火に繋がります。コードが折れ曲がった状態や束ねた状態での使用も危険なため、伸ばした状態で使用しましょう。

◎ガスコンロの近くに可燃物を置かない、使用中はそばから絶対にはなれない、こまめな掃除をする

住宅火災の原因で一番多いのが、コンロからの出火と言われています。キッチンペーパーや布巾等燃えやすいものは近くに置かないように気を付けましょう。また、コンロだけでなく、魚焼きグリルも注意が必要です。焼き網や受け皿に付着した古い焦げカスや油汚れから発火の原因に繋がることもあるため、掃除が大変ではありますが、なるべく清潔な状態で使用できると安全です。